

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生課程	ブライダルビューティー科1年 ブライダルプランナーコース	夜・通信	750 時間	160 時間	
	ブライダルビューティー科1年 ブライダルスタイリストコース	夜・通信	750 時間	160 時間	
	ブライダルビューティー科1年 トータルビューティーコース	夜・通信	750 時間	160 時間	
	ブライダルビューティー科2年 ブライダルプランナーコース	夜・通信	690 時間	160 時間	
	ブライダルビューティー科2年 ブライダルスタイリストコース	夜・通信	720 時間	160 時間	
	トータルビューティー科2年 ネイルコース	夜・通信	765 時間	160 時間	
	トータルビューティー科2年 エステ・メイクコース	夜・通信	765 時間	160 時間	
(備考) ブライダルビューティー科は、教育課程変更の途上により1年は新課程、2年は旧課程のため、「実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数」については、当年度のみの時間数。 トータルビューティー科は平成30年4月(平成31年度入学生)より募集停止。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.asu-g.jp/index.php/yakuin/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2018.4.1～ 2020.3.31	財務
非常勤	クロスプラス株式会社相談役	2019.4.1～ 2020.3.31	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 『シラバス作成ガイドライン』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準などを、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。 ・シラバスは前年度3月までに作成し、新年度の授業開始時期までに公表できるよう努めている。 ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html 教室内への掲示
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 『試験及び成績評価に関する施行細則』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。 『入学・卒業等に関する規程』 ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 『GPAに関する細則』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の5段階の成績評価に対して、4～0の評点を付与して算出する1単位当たりの評定平均値をGPAとしている。30時間で1単位とする。 100点満点で評定された成績の段階ごとに次のGPを配点する。 秀100～90点GP=4、優89～80点GP=3、良79～70点GP=2、可69～60点GP=1、不可60点未満GP=0 GPAは、次の各号に区分し、当該各号に定める方法で計算する。この場合において計算値は、小数点以下第3位を四捨五入して算出する。 <ol style="list-style-type: none"> 学期GPA=(当該学期において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和/当該学期において履修した各授業科目の単位数の和 年度GPA=(当該年度において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和/当該年度において履修した各授業科目の単位数の和 通算GPA=(全学期において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のGP)の和/全学期において履修登録した各授業科目の単位数の和 	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html 学生便覧の配布
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 『3つのポリシー』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会人としての一般常識とブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識ならびに職業倫理を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること。所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 <p>『入学・卒業等に関する規程』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する 審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html 学生便覧の配布

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋ブライダルビューティー専門学校
設置者名	学校法人愛知産業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.asu-g.jp/index.php/zaimu
収支計算書又は損益計算書	http://www.asu-g.jp/index.php/zaimu
財産目録	http://www.asu-g.jp/index.php/zaimu
事業報告書	http://www.asu-g.jp/index.php/zaimu
監事による監査報告（書）	http://www.asu-g.jp/index.php/zaimu

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ブライダルビューティー科(1年)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	180 単位時間	525 単位時間	165 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			870 単位時間				
生徒総定員数 (ブライダルビューティ ー科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の 内数)	総教員数 (専門課程 の内数)	
100人		42人	0人	3人	8人	11人	

※教育課程変更の途上により1年は新課程、2年は旧課程のため、「開設している授業の種類」については、当年度の単位数のみ。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>『シラバス作成ガイドライン』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。 ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>『試験及び成績評価に関する施行細則』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。 <p>『入学・卒業等に関する規程』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>『3つのポリシー』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての一般常識とブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識ならびに職業倫理を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること。所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 <p>『入学・卒業等に関する規程』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する ・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、美容業界			

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブプランニングセミナーの実施 ・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師) ・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>1年次共通</p> <p>サービス接遇検定2級/マナーコミュニケーション検定初級/着装技術師検定3級/日本メイクアップ技術検定2～3級/フォーマルスペシャリスト検定準2級</p> <p>2年次</p> <p>(ブライダルプランナーコース)</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/ホテル・レストランサービス技能検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定/マナープロトコール検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p> <p>(ブライダルスタイリストコース)</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定//マナープロトコール検定3級/着装技術師検定2級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p> <p>(トータルビューティーコース)</p> <p>A E A日本エステティック業協会認定エステティシャン/エステティックセンター試験/マナープロトコール検定3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>平成31年度より新課程のため卒業生なし</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>平成31年度より新課程のため昨年度の中退学はなし</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任と面談。40時間に達した場合、教務主任と面談。60時間に達した場合、校長と面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
衛生	衛生専門課程	ブライダルビューティ科(2年) ブライダルプランナーコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	315 単位時間	390 単位時間	135 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			840 単位時間				
生徒総定員数 (ブライダルビューティ 科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の 内数)	総教員数 (専門課程 の内数)		
100人	42人	0人	3人	8人	11人		

※教育課程変更の途上により1年は新課程、2年は旧課程のため、「開設している授業の種類」については、当年度の単位数のみ。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 『シラバス作成ガイドライン』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。 ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 『試験及び成績評価に関する施行細則』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。 『入学・卒業等に関する規程』 ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 『3つのポリシー』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・社会人としての一般常識とブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識ならびに職業倫理を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること。所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 『入学・卒業等に関する規程』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する ・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。
学修支援等
(概要) 技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
ブライダル業界	・ニュートンプラスイー(株)・(株)クレールコーポレーション	他	
美容業界	・(株)セドナエンタープライズ	他	

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブプランニングセミナーの実施 ・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師) ・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/ホテル・レストランサービス技能検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定/フォーマルスペシャリスト検定準2級/マナープロトコル検定3級/サービス接遇検定2級/マナーコミュニケーション検定初級/着装技術師検定3級/日本メイクアップ技術検定2～3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	1人	6.25%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任と面談。40時間に達した場合、教務主任と面談。60時間に達した場合、校長と面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ブライダルビューティ科(2年) ブライダルスタイリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	105 単位時間	450 単位時間	285 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			840 単位時間				
生徒総定員数 (ブライダルビューティ 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の内 数)	総教員数 (専門課程 の内数)	
100人		42人	0人	3人	8人	11人	

※教育課程変更の途上により1年は新課程、2年は旧課程のため、「開設している授業の種類」については、当年度の単位数のみ。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 『シラバス作成ガイドライン』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。 ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 『試験及び成績評価に関する施行細則』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。 『入学・卒業等に関する規程』 ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 『3つのポリシー』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・社会人としての一般常識とブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識ならびに職業倫理を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること。所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 『入学・卒業等に関する規程』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する ・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。
学修支援等
(概要) 技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
ブライダル業界 ・(株)フォーシスアンドカンパニー ・(株)プラス 他 美容業界 ・(株)ジョンマスターオーガニック 他			

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブプランニングセミナーの実施 ・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師) ・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>ブライダルコーディネーター検定3級/アシスタントウェディングプランナー検定/フォーマルスペシャリスト検定準2級/マナープロトコール検定3級/サービス接遇検定2級/マナーコミュニケーション検定初級/着装技術師検定2級/日本メイクアップ技術検定1～3級/パーソナルカラー検定モジュール2/アロマセラピー検定1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任と面談。40時間に達した場合、教務主任と面談。60時間に達した場合、校長と面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	トータルビューティー科(2年) エステ・メイクコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	90 単位時間	510 単位時間	240 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			840 単位時間				
生徒総定員数 (トータルビューティー科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の 内数)	総教員数 (専門課程 の内数)	
40人		6人	0人	3人	8人	11人	

※トータルビューティー科は平成30年4月(平成31年度入学生)より募集停止により、「開設している授業の種類」については、当年度の単位数のみ。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 『シラバス作成ガイドライン』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。 ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 『試験及び成績評価に関する施行細則』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。 『入学・卒業等に関する規程』 ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 『3つのポリシー』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・社会人としての一般常識とブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識ならびに職業倫理を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること。所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 『入学・卒業等に関する規程』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する ・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。
学修支援等
(概要) 技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容(エステ)業界 ・ 神美 ・ ドクターサポート 他			

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブランニングセミナーの実施 ・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師) ・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>A E A日本エステティック業協会 上級認定 エステティシャン / エステティックセンター試験 / マナープロトコル検定 3 級 / サービス接客検定 2 級 / マナーコミュニケーション検定初級 / 日本メイクアップ技術検定 1 ～ 3 級 / パーソナルカラー検定モジュール 2 / アロマセラピー検定 1 級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	2 人	28.6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p> <p>※コース選択前の退学者(2名)のため、エステ・メイクコースに含む。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>欠課数に応じて面談を実施。20 時間に達した場合、担任と面談。40 時間に達した場合、教務主任と面談。60 時間に達した場合、校長と面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	トータルビューティー科 ネイルコース(2年)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	135 単位時間	60 単位時間	645 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			840 単位時間				
生徒総定員数 (トータルビューティー科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (専門課程の 内数)	兼任教員数 (専門課程の 内数)	総教員数 (専門課程 の内数)	
40人		6人	0人	3人	8人	11人	

※トータルビューティー科は平成30年4月(平成31年度入学生)より募集停止により、「開設している授業の種類」については、当年度の単位数のみ。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 『シラバス作成ガイドライン』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・「シラバス作成ガイドライン」に基づき、授業内容・方法、到達目標、講師実務経験、目指す資格、授業予定、授業時間外の学習、成績評価基準など、チェックポイントなどでわかりやすく指示している。 ・作成したシラバスは教室への掲示と、HPでの公表を行っている。
成績評価の基準・方法
(概要) 『試験及び成績評価に関する施行細則』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・同細則に従い成績評価基準を設けている。学生には同細則及びシラバスにも成績評価基準をあらかじめ明示している。 『入学・卒業等に関する規程』 ・同規定によって、卒業または進級の認定基準を設け、審査会議、校長承認を経て単位認定をしている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 『3つのポリシー』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・社会人としての一般常識とブライダル業界およびビューティー業界で働く専門知識ならびに職業倫理を持ち、社会に真摯に仕える能力を身につけていること。所定の単位を取得し、所定の要件を満たした学生に対し、卒業を認定し、専門士を授与する。 『入学・卒業等に関する規程』 https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html ・教育課程表に記載する必要単位の学科目の成績がすべて「可」以上であり修得する ・審査会議にて審査された内容において、校長の承認を得る。
学修支援等
(概要) 技術または学習の遅れがみられる学生や、検定試験前には、放課後に個別指導を実施。 検定試験前は、朝や帰りのホームルームを使用して、小テストを実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容(エステ)業界 ・(株)キューブ ・(株)ラ・パンセ 他			

<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による職業講話の実施 ・外部講師による労働法やライブランニングセミナーの実施 ・自己分析、将来設計 ・エントリーシート作成 ・就活メイク講座 (外部講師) ・履歴書写真撮影 ・面接指導 ・グループディスカッション指導
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>JNEC ネイリスト技能検定1～3級 / JNA ジェルネイル検定初級～上級 / マナープロトコール検定3級 / サービス接客検定2級 / マナーコミュニケーション検定初級 / 日本メイクアップ技術検定3級 / パーソナルカラー検定モジュール2 / アロマセラピー検定1級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠課数に応じて面談を実施。20時間に達した場合、担任と面談。40時間に達した場合、教務主任と面談。60時間に達した場合、校長と面談。各面談後、面談結果を保護者へ報告。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ブライダルビューティー科	100,000 円	460,000 円	390,000 円	教育充実費(1年次のみ) 実習費(年間)
トータルビューティー科	100,000 円	460,000 円	390,000 円	※募集停止 教育充実費(1年次のみ) 実習費(年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
指定校推薦入学奨学金 制度 (入学時)入学金半額給付(5万円)				
AO 入学早期出願奨学金 制度 (入学時)一次出願者入学金 5万円免除 二次出願者入学金 3万円免除				
履歴評価奨学金 制度 (入学時)入学金半額免除(5万円)				
経済支援奨学金 制度 (在学時)授業料半額免除(23万円)				
学修奨励奨学金 制度 (在学時)授業料一部免除(10万円)				
指定検定合格奨学金 制度 (在学時)指定検定資格の受験検定料				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 委員は業界関係者、保護者、卒業生、教育的知見者により構成 (各1名以上) し、委員会は、本校が実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、改善・支援等を行うことにより、学生が、関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるように学校運営の改善と、専修学校教育の発展を目指した学校評価を教育活動、学修成果など複数の項目から行うことを目的とする。学校長は、自己評価の結果を本校教職員で組織した運営委員会に報告し、適宜、教育活動及び学校運営等に反映する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人エステティックグランプリ	2018.4.1～ 2020.3	教育的知見者
(株) ビーフースト	2018.4.1～ 2020.3	業界関係者【ネイル】
(株) クレールコーポレーション	2018.4.1～ 2020.3	業界関係者【ブライダル】
TBC グループ (株)	2018.4.1～ 2020.3	業界関係者【エステ】
(株) Plan・Do・See	2019.4.1～ 2020.3	業界関係者【ブライダル】
(株) コーセー	2018.4.1～ 2020.3	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.nbb.ac.jp/info-disclosure/infopub.html